

1～4号炉は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

■ 本号の内容

- 発電所の業務をご紹介します
- 廃止措置作業についてお知らせします
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況

2024年10月1日 発行

- 富岡町「麓山^{はやま}の火祭り」に参加いたしました
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX



伝統行事
麓山神社の「火祭り」(富岡町 上手岡)
はやま



みなさまの声をお聞かせください
こちらのメールアドレスにてお待ちしております。
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。
<https://www.tepcoco.jp/2f-np/index-j.html>

発電所の業務をご紹介します

今回は保全・工事部
システムエンジニアリンググループです

システムエンジニアリンググループは、発電所設備が安全に機能維持できるよう「設備の劣化状態予見」や「系統監視」、「設備保全に関する検討」などを行っています。

「設備の劣化状態予見」については、設備診断技術を活用し設備の状態を定量的に管理・評価して、設備の状態変化や異常の兆候をいち早くキャッチすることにより、必要な時に適切な処置を行うことで設備の信頼性向上に努めています。



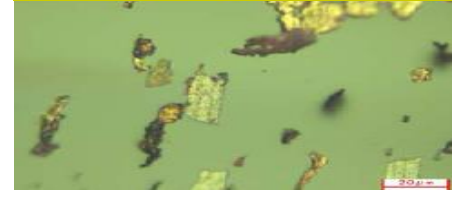
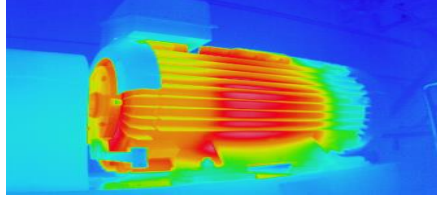
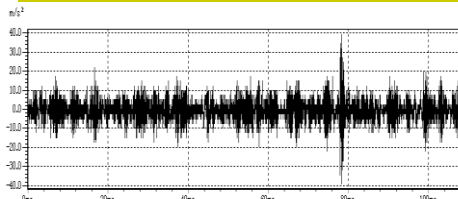
振動診断



赤外線サーモグラフィ診断



潤滑油診断



現場で設備診断を行っている様子

五感も働かせ機器の状態を把握する

－業務について教えてください

設備診断技術には、振動診断・赤外線サーモグラフィ診断・潤滑油診断の3種類があり、私は主に振動診断業務を担当しています。実際に現場で機器の振動データを採取し、そのデータを基に機器の状態を評価します。

設備診断を行うためには資格が必要となります。資格取得に挑戦した際は苦労しましたが、資格を活かした専門的な業務にとってもやりがいを感じています。

－業務を行う上で心がけていることは

業務にあたっては、振動データの他に五感による診断を大切にしています。

「いつもより揺れが大きい」「いつもと違う音がする」など、機器の状態を常に把握しているからこそ気付ける些細な違和感を見逃さないことも、異常兆候の早期発見へと繋がると考えているためです。

また、グループでは設備診断における結果の共有や課題に対する議論を定期的に行っており、メンバーが持つ知見や経験を共有することで、グループ全体の技術力向上を図っています。

今後も「より良い保全活動」の実現に向け、引き続きグループ一丸となって取り組んでまいります。



保全・工事部
システムエンジニアリンググループ

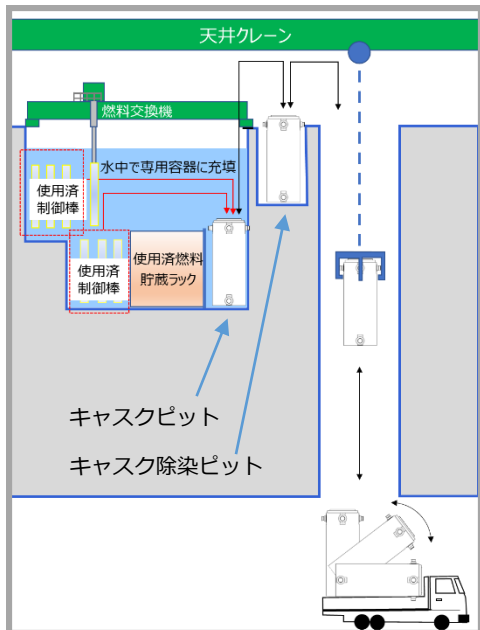
よこやま あずさ
横山 東沙 (浪江町出身)

廃止措置作業についてお知らせします

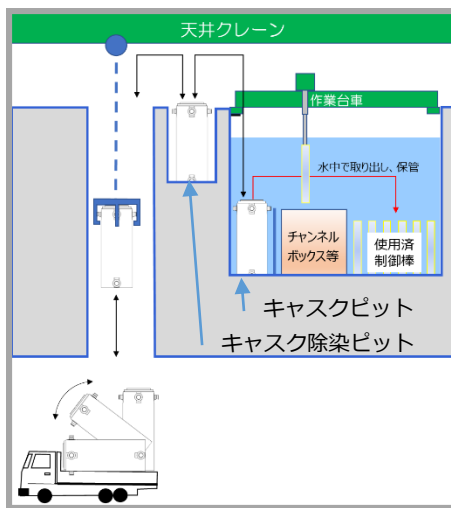
使用済燃料プールからの使用済制御棒の移送を開始しております

- ◆ 1号炉および4号炉の原子炉建屋内使用済燃料プールに保管している使用済制御棒*1を、敷地内のサイトバンカ建屋*2内プールへ移送する作業を7月25日より開始しております。
- ◆ 移送作業は4号炉から着手し、その後1号炉の順に進め、2025年度に完了予定です。

<原子炉建屋6階>



<サイトバンカ建屋2階>



- *1 使用済制御棒
原子炉内で使用し、放射線量が高くなった制御棒
- *2 サイトバンカ建屋
制御棒などの放射性固体廃棄物を一時的に貯蔵保管するための設備

移送容器イメージ図

上から 横から	全長	約5.3m
	外径	約2.0m
	重さ	約73 t



原子炉建屋とサイトバンカ建屋間を専用車両にて、4号炉は19往復、1号炉は15往復、合計34往復移送を行います。

発電所構内の空間線量

(単位はマイクロシーベルト毎時)

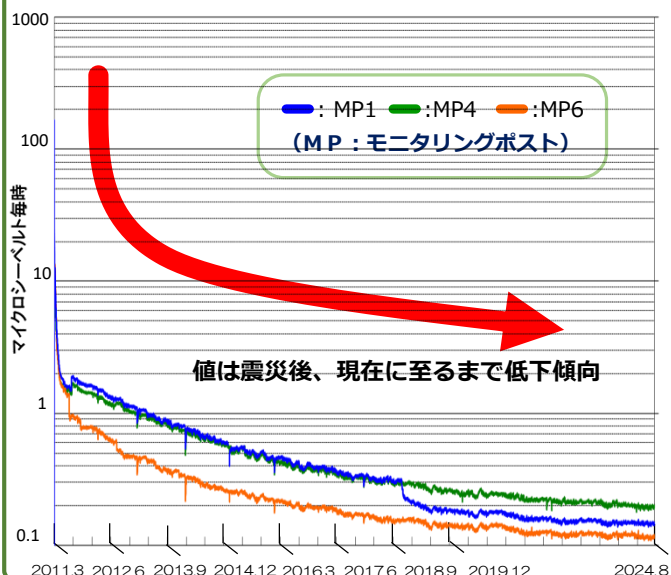
発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2024年9月18日 時点

0.07 [MP7] ~ 0.21 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで (2011年3月16日~2024年8月31日)



参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町 (文化交流センター) 機器調整中	植葉町 (役場)	0.07
広野町 (役場)	川内村 (役場)	0.05

出典: 福島県放射能測定マップ (市区町村別線量率一覧) より (2024年9月18日 時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	ソウル (韓国)	0.12
上海 (中国)	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典: Safecast (福島県放射能測定マップ) より

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて原子炉から取り出し、1~4号炉の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号炉	2号炉	3号炉	4号炉

富岡町「麓山の火祭り」に参加いたしました

はやま



男衆が宮司のおはらいを受け、剣札（けんさつ）をはちまきに飾り、長さ約3m、重さ約40kgのたいまつを肩に担ぎ、山頂の奥の院を目指す



福島県指定重要無形民俗文化財
麓山の火祭り（毎年八月十五日開催）



五穀豊穡と無病息災を祈る

渡辺グループマネジャー 山口所長 中野副所長



「千灯（せんどう）、千灯」の掛け声でお互いを鼓舞しながら、標高230mの麓山を駆け上がる



みなさまの声を聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。

今後の広報紙づくり等のため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにてお待ちしております。

fuku2kouhou@tepco.co.jp（受信専用）

※いただいた内容は、広報紙づくり等の参考にするを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

編集後記

4月より福島第二原子力発電所に入社し、今月号からお知らせの作成に携わせていただきました。作成にあたっては、発電所の情報や地域の催しをわかりやすく伝えられるよう、グループ内で意見を出し合い作成しています。今後も、みなさまに興味を持っていただけるようなお知らせづくりを心掛けていきます！よろしくお願いたします。



発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,455人※です。（2024年8月1日現在）
※1日あたりの入構者数は約780人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	345人	1,857人	2,202人（90%）
県外	55人	198人	253人（10%）
合計	400人	2,055人	2,455人（100%）

福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。



Facebook.com/OfficialTEPCO



公式エックス @OfficialTEPCO



編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネジャー
〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12
TEL 0240-25-1353（受付時間（平日）午前9時～午後5時）
fuku2kouhou@tepco.co.jp（受信専用）